

授業概要

環境経営（Environmental Management）とは、組織や企業が自らの経営活動において自然環境への影響を最小化し、持続可能な経済活動を追求するための経営手法である。授業では、環境経営のキーワード、理論と実践スキルを考察し、実際の企業事例を取り上げながら、その実態や諸課題について理解を深められるよう講義する。授業の専門知識を応用し、自らの視野と可能性をさらに広げることを期待する。

授業計画

第 1 回	授業の狙い、全体像、進め方、評価方法および受講上の注意点
第 2 回	地球環境に関する基礎知識：大気、海、森林の働きと生態系・人口問題
第 3 回	環境問題とは何か：世界と日本の取り組み
第 4 回	地球温暖化のメカニズムと地球温暖化対策
第 5 回	エネルギーと地球環境のかかわり、省エネルギー技術
第 6 回	循環経済と廃棄物処理、リサイクル
第 7 回	日本の環境基本計画と環境政策、環境教育
第 8 回	中間まとめ（前半までの授業内容の振り返り、復習問題・解説）
第 9 回	企業の環境責任と環境マネジメントシステム、環境コミュニケーション
第 10 回	産業別の環境活動と指標
第 11 回	ESG 投資と財務・非財務情報の開示
第 12 回	ソーシャルビジネスと地域協働
第 13 回	総合演習（1）
第 14 回	総合演習（2）
第 15 回	期末まとめ（後半の授業内容の振り返り、復習問題・解説）
第 16 回	期末試験（持込可）

到達目標

- ・環境経営論の基礎知識を理解し、関連分野の現状、特徴や諸課題について説明できる。
- ・環境経営論の知識を応用し、自らの視野と可能性を広げることができる。

履修上の注意

- ・授業計画（テーマや順番など）は変更になることがある。
- ・授業開始から 30 分までは遅刻として受講を認める。（遅延証明や体調不良等の証明がある場合を除く）
- ・遅刻 3 回で 1 回の欠席扱いとし、無断欠席が累計 6 回以上の場合、単位付与は行わない。

予習・復習

- ・予習：次回授業で取り上げるテーマについて予習や情報収集を指示する。
- ・復習：前回授業で学習した内容の復習問題と解説を定期的実施する。

評価方法

- ・平常点：70%（授業内リアクションペーパーの提出をもって総合評価する）
- ・期末試験：30%（配布資料やノート等は持込可）

テキスト

- ・テキストの指定はしない。毎回授業資料を配布する。
- ・授業ごとのテーマに沿った参考文献等は適宜紹介する。